



For Earth, For Life  
Kubota

# 農業機械



# 長期格納時のポイント

機械を「安心」して「末長く」「安全」にお使いいただくために

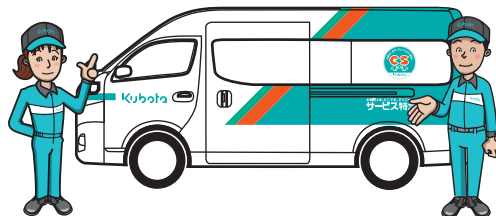


## 今シーズンの農作業お疲れ様でした。

手入れする事によって、格納時のトラブル・損傷を防ぎ、「エンジンがかからない」「動きが悪い」「動かない」といった不具合を予防できます。

また、シーズン中に異音等、気になる点がありましたら、購入店で点検を受けて整備しておきましょう。

農業機械のことなら  
なんでも私たちに、お任せください



大切な機械だから…  
プロによる「定期点検整備」を  
おすすめいたします。



「定期点検整備」を受けると  
こんなメリットがあります。

- 1 シーズン中のトラブルが低減でき、計画的な作業が行えます。
- 2 安全な農作業が行えます。
- 3 重大な故障が少なくトータルでは経済的です。
- 4 ご自身でのメンテナンスの手間や時間の節約ができます。
- 5 機械を末長く使用していただけます。

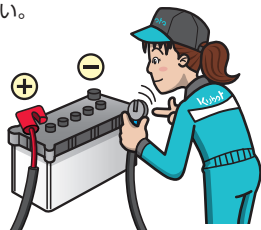
17.06.0.5.KES

## コンバイン・トラクタ・田植機共通のポイント

バッテリーのマイナス端子を  
外して保管しましょう。

- 自然放電して、バッテリーあがりとなる恐れがあります。

※機体から外す場合は、マイナス端子から先に外して、日光の当たらない場所に保管してください。



各部にオイル・グリスを  
注油しましょう。

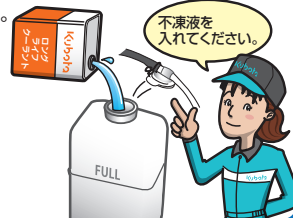
- サビが発生し、スムーズに動かなくなる恐れがあります。



不凍液が入っているか  
確かめましょう。

- 冷却水のままで保管すると、エンジンの凍結割れをおこす恐れがあります。

※不凍液(ロングライフクーラント)の有効使用期限は2年間です。



# コンバイン



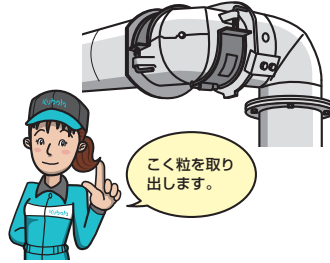
わらくずや雑草、泥などを取り除きましょう。

- ベルト、チェーン、切断刃部、回転部に巻き付いた雑草やわらくずなどを取り除いてください
- クローラなどに付着した泥は、水で洗い落として乾いた布で拭き取っておいてください。



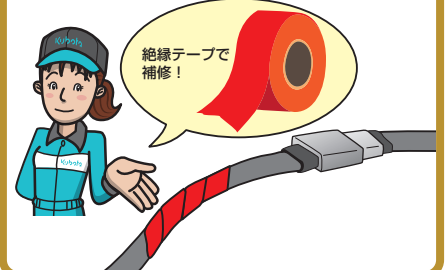
残っているこく粒を取り除きましょう。

- ネズミの害を防ぐために各部の掃除口を開いて、こく粒を取り除いてください。



配線の被覆がはがれている所は絶縁テープで補修しましょう。

- 配線のショートによる各部の破損、作動不良となる恐れがあります。



※コンバインを格納の際は水平な場所に置き、刈取部を一番下まで降ろして保管してください。

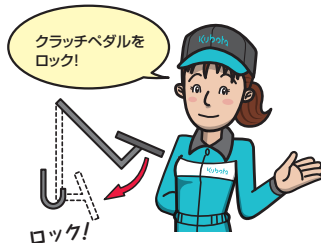
# トラクタ



クラッチ板の固着を防ぐために、クラッチ「切」で固定しましょう。

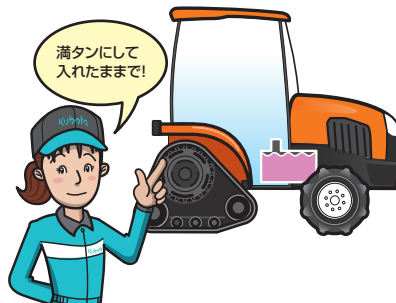
- クラッチペダルをいっばいに踏み込んで、ロック金具で固定してください。

※湿式多板タイプは不要です。



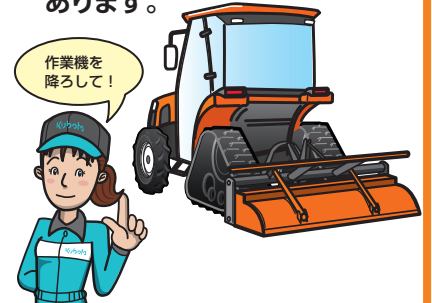
燃料を満タンにしておきましょう。

- 空にしておくと、タンク内に水滴ができ、サビの原因になります。



作業機(ロータリ等)は最下部まで降ろして保管しましょう。

- 落下して、作業機や下に置いてあるものが破損する恐れがあります。

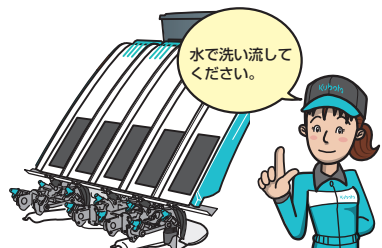


# 田植機



機体の泥を取り除きましょう。

- 植付部に付着した泥は、水で洗い落として乾いた布で拭き取っておいてください。



燃料タンク・気化器内のガソリンを抜き取りましょう。

- 気化器内のガソリンは燃料コックを「閉」にしてワンタッチドレンを引けば抜き取れます。
- 燃料コックのポット内のガソリンも抜き取ってください。

※ZP67、87は燃料を満タンにしておいてください。



植付部は最下部まで降ろして保管しましょう。

- 落下して、作業機や下に置いてあるものが破損する恐れがあります。

